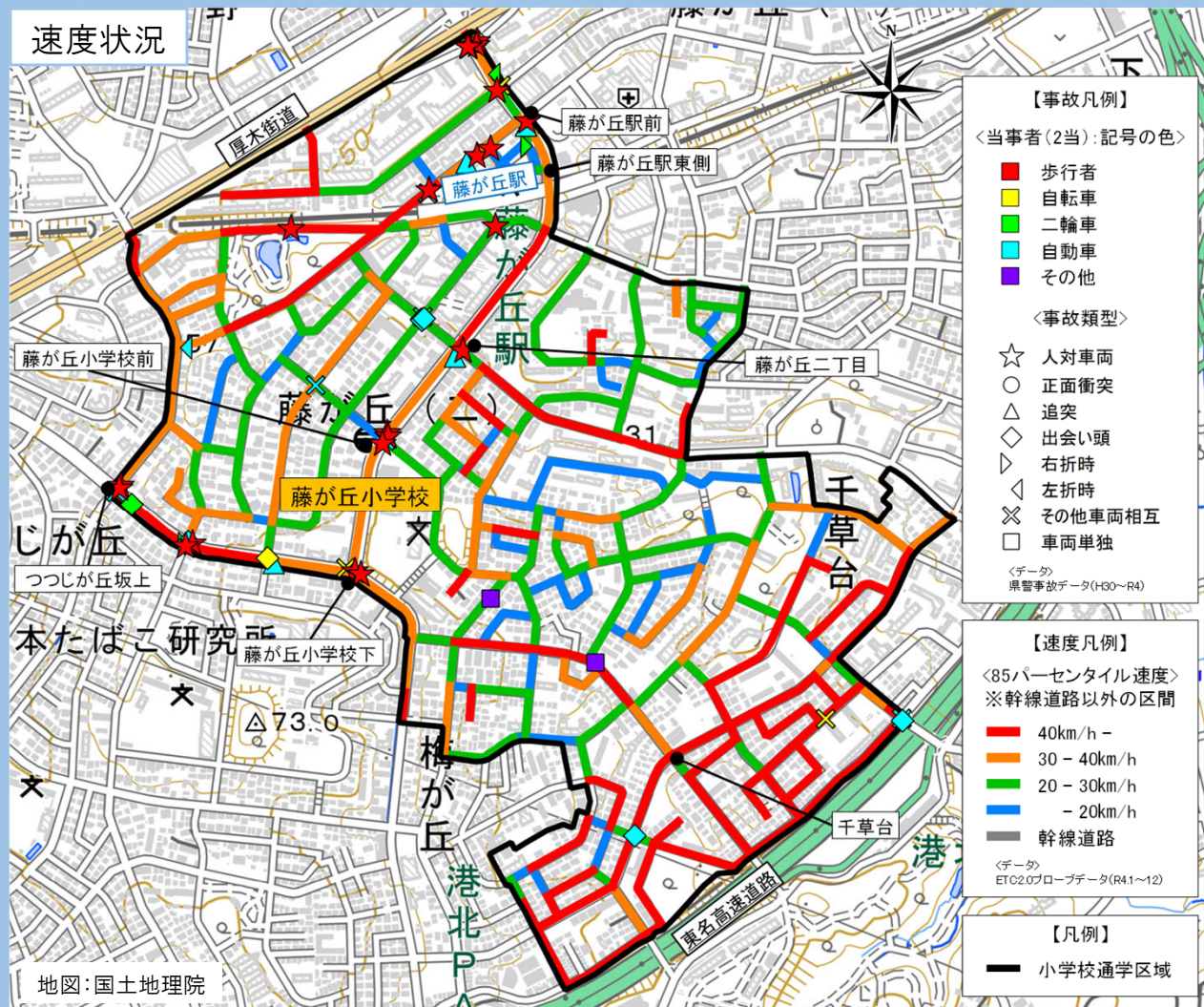
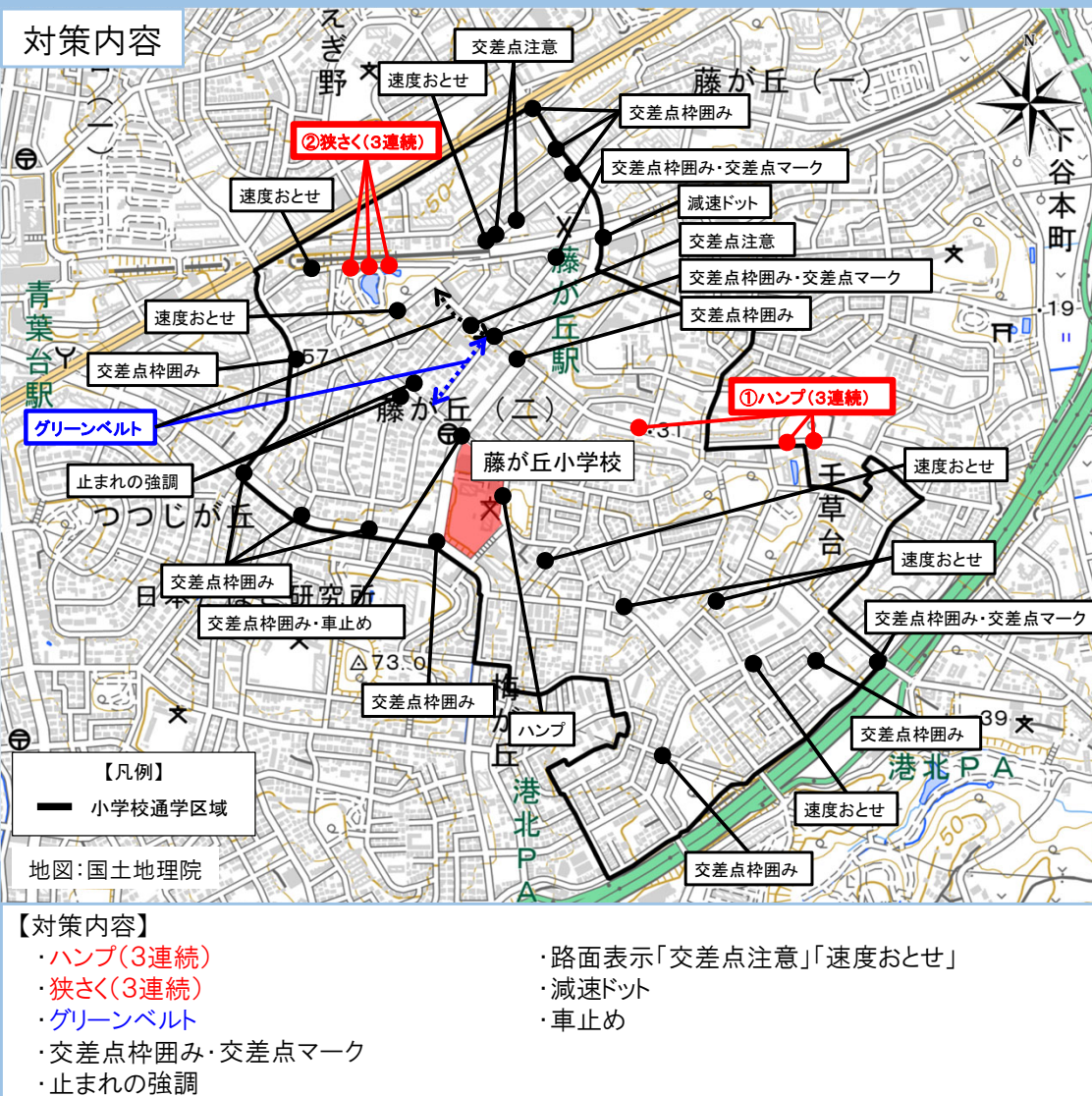


速度状況と対策内容

ETC2.0 から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。速度の高い路線に対して、速度抑制を目的にハンプ、狭さくを設置した。校区全体でも路面表示などによる注意喚起を行い、児童の登下校時の安全性向上を図った。



※ETC2.0分析結果（国土交通省提供）を加工し、横浜市が作成
 ※交通事故データ（神奈川県警）より抽出



①ハンプ(3連続)



②狭さく(3連続)



交通安全対策取組フロー

課題把握 → 対策案 → 合意形成 → 対策実施 → 効果検証

ETC2.0や地域の声をもとに課題を把握
 ETC2.0や交通事故データをもとに作成
 R6. 7.2スクールゾーン対策協議会において対策案を説明
 いただいたご意見等も踏まえ対策実施
 ETC2.0データの分析や通学児童へのアンケートを実施

スクールゾーン対策協議会からの主要要望

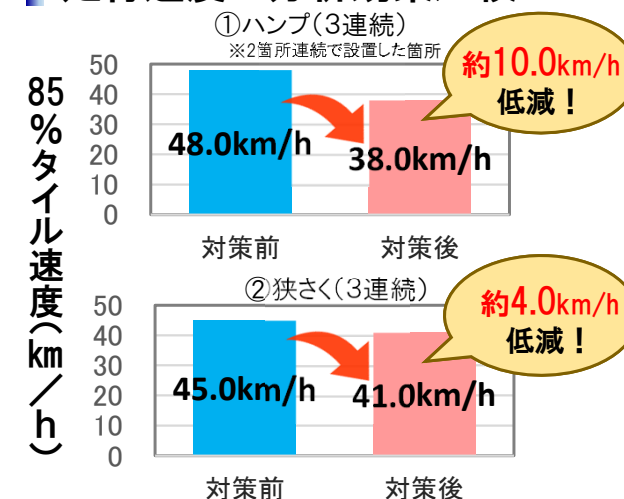
グリーンベルトの整備・補修により、歩行空間を明示してほしい。

過去に車が突っ込む事故があったため、交差点にボラードを設置してほしい。

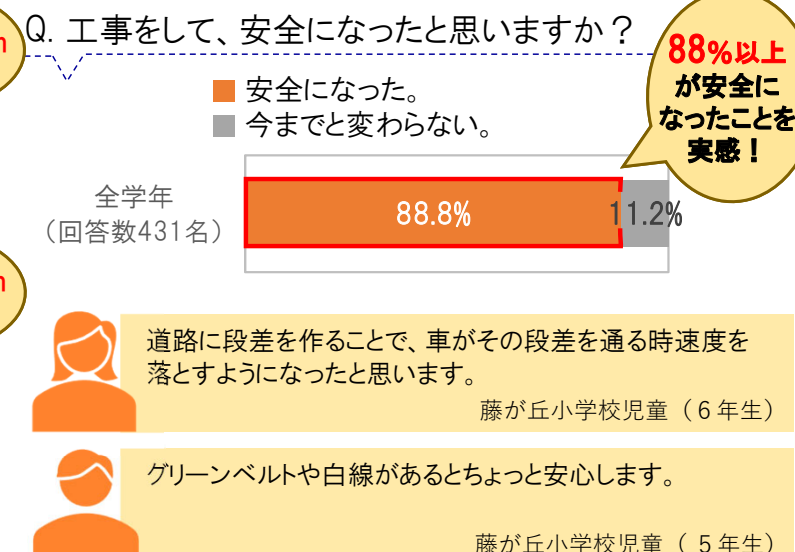
あんしんカラーベルトの整備



走行速度の分析効果比較



児童向けアンケート



国土交通省より提供されたETC2.0プローブデータを活用し、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の下で推進する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/スマートモビリティプラットフォームの構築/都市内街路交通をリ・デザインするための技術・政策パッケージの開発」(研究推進法人:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の中で、横浜市との連携のもと、分析・検証を行ったもの
 ※ETC2.0プローブデータ:走行履歴(対策前 R6.5 対策後 R7.5)
 ※研究推進法人:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO管理番号:JPNP23023)の成果が含まれている

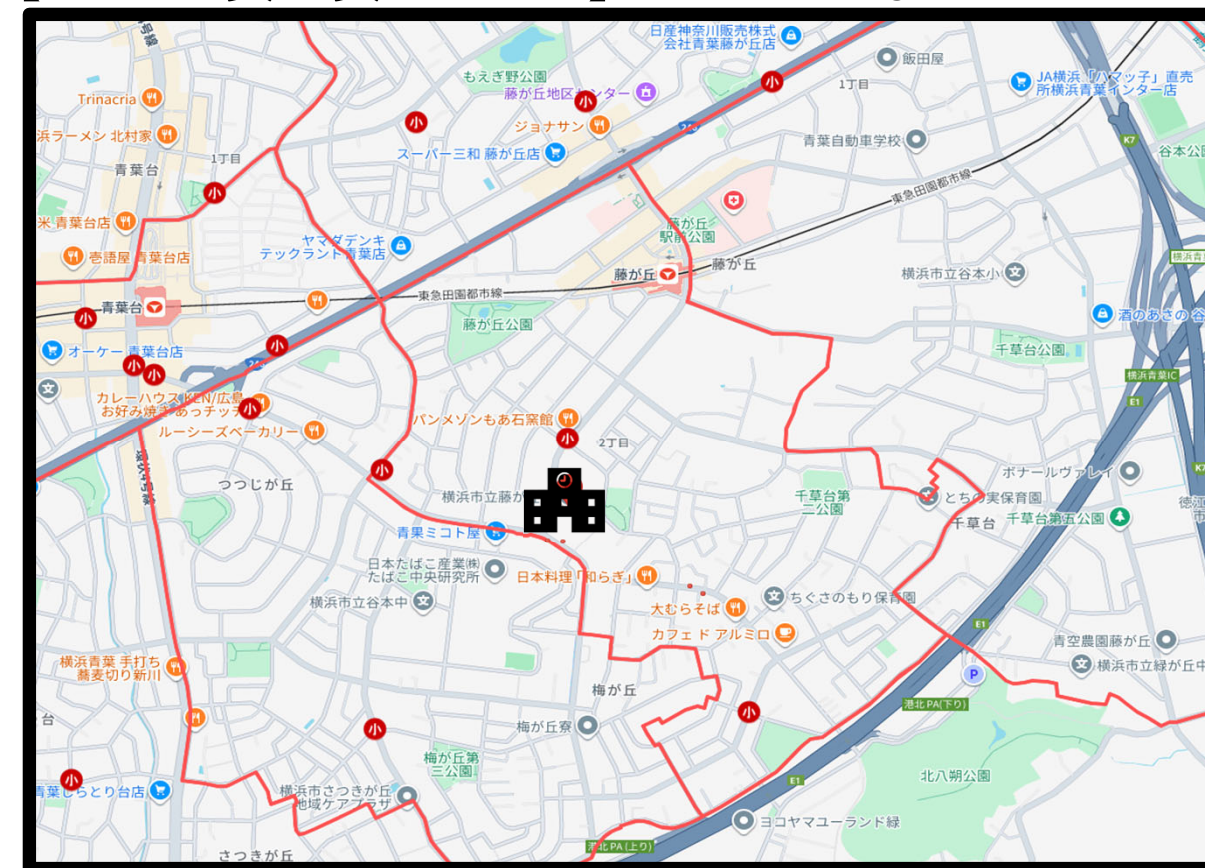
青葉区 藤が丘小学校

【対策方針】

- 登下校時における見守り隊の見守りを行う。
- 交通安全教室での安全指導を行う。
- スクールゾーン対策協議会や学校運営協議会での対策協議をする。
- 「総合的な学習の時間」での子どもたちの主体的な取り組みと発信する。

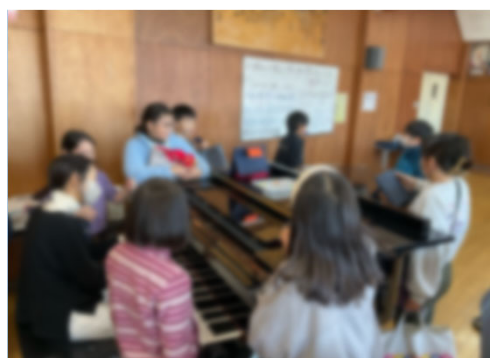
【こども・安全安心マップ】

引用:Googleマップ



■ 対策事例

交通安全の歌(安全な世界)の制作



1, 2年生に交通安全を意識してもらおうと、歌(安全な世界)を帰りの会で歌ってもらえるようお願いをした

【学校からのコメント】
下校時に走って帰る子も多いので楽しく気をつけてもらえるようになった

放課後キッズクラブ交通安全教室 (実施日:(1回目)令和6年8月23日(2回目)令和6年12月27日 参加人数:67名)



下校時間の遅く1人で帰ることが多い放課後キッズクラブの児童に向けて、委託事業者による交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
こども・安全安心マップを基に、交通安全マップを作成するグループワーク

はまっこ交通安全教室 (実施日:令和6年6月17日 参加人数:168名)



※写真は対象校とは異なります

道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を使い始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導 (実施日:令和6年9月5日ほか1回実施 参加人数:計70名)



※写真は対象園とは異なります

未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】
アスク藤が丘保育園
ちぐさのもり保育園